



【証券コード：9651】

日本プロセス株式会社 決算説明会

2022年5月期 第2四半期



2022年1月18日

1. 2022年5月期 第2四半期連結決算

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

1. 2022年5月期 第2四半期連結決算

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

2022年5月期第2四半期 連結決算の概況

単位：百万円

	期首 計画	計画 対比	実績	前年 対比	前年
売上高	3,740	▲64 ▲1.7%	3,675	+317 +9.5%	3,357
営業利益 (利益率)	360 (9.6%)	▲15 ▲4.2%	344 (9.4%)	+28 +8.9%	316 (9.4%)
経常利益 (利益率)	380 (10.2%)	▲6 ▲1.7%	373 (10.2%)	+19 +5.6%	353 (10.5%)
四半期純利益 (利益率)	260 (7.0%)	▲34 ▲13.5%	225 (6.1%)	▲10 ▲4.4%	235 (7.0%)

売上高

前年比：+317百万円（+9.5%）

特定情報の大規模案件が進展遅れるも、
他セグメントは堅調

営業利益

前年比：+28百万円（+8.9%）

営業利益率は、対計画微減も前年並み

経常利益

前年比：+19百万円（+5.6%）

営業外収益は概ね前年並み

四半期純利益

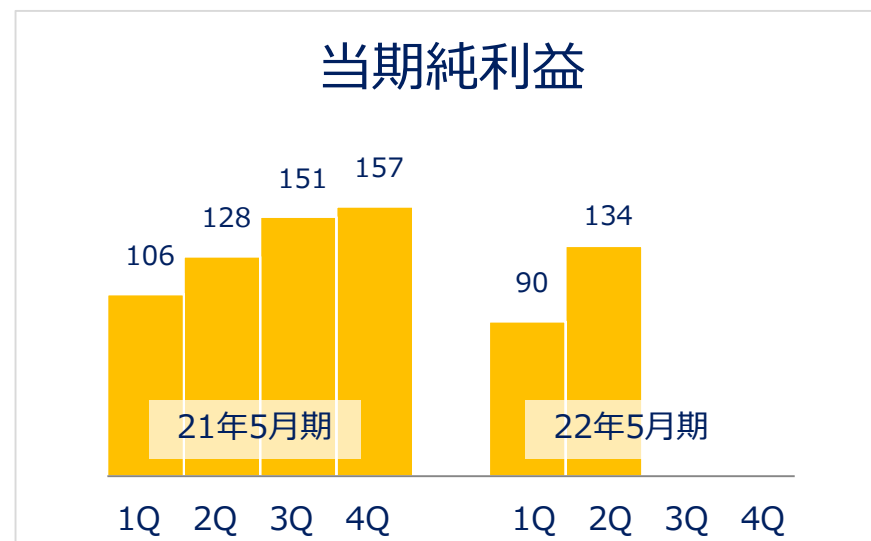
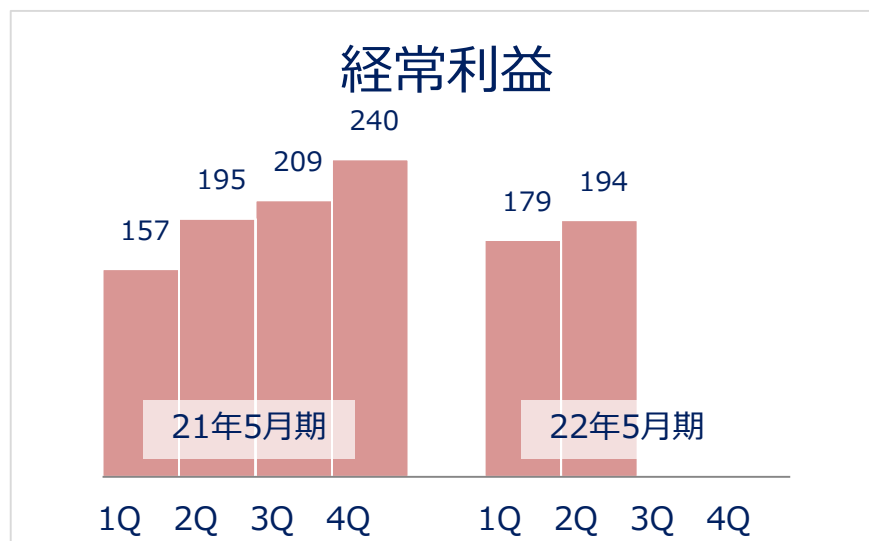
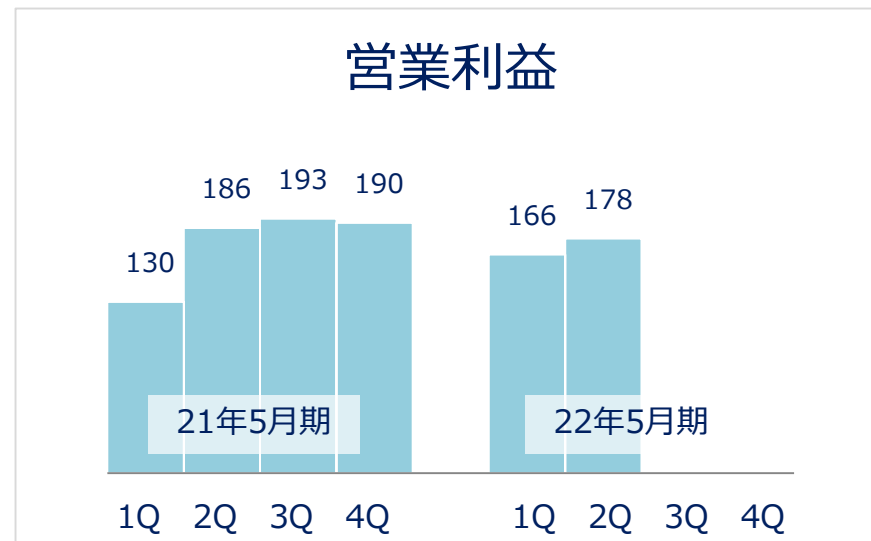
前年比：▲10百万円（▲4.4%）

法人税を簡便法で計上のため

- 東証市場再編
 - ・ JASDAQからスタンダード市場への移行決定
 - ・ コーポレートガバナンス報告書全適用版提出済
- ESG投資
 - ・ 第63回日本学生支援債券
 - ・ 東京都公募公債（第5回東京グリーンボンド）
- 新型コロナウイルス感染症対策
 - ・ 社員や家族、ステークホルダーの健康第一に、リモートワークやオンライン化、3密防止等の対策を継続
 - ・ 家族と過ごす費用として特別手当を支給
- 採用活動
 - ・ Webを活用した会社説明会、採用試験・面接の実施

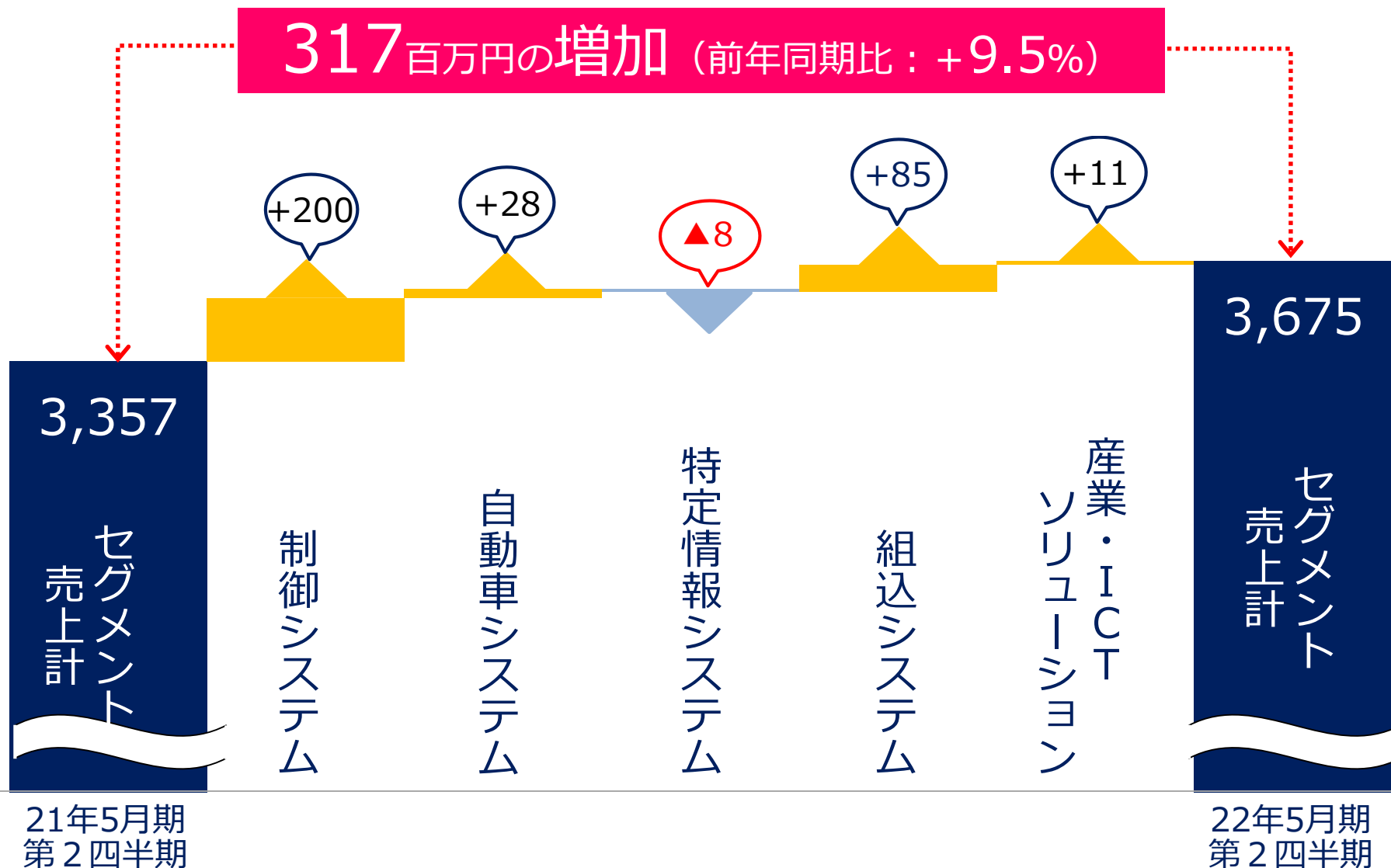
2022年5月期第2四半期 連結決算の四半期推移

単位:百万円



セグメント別売上増減

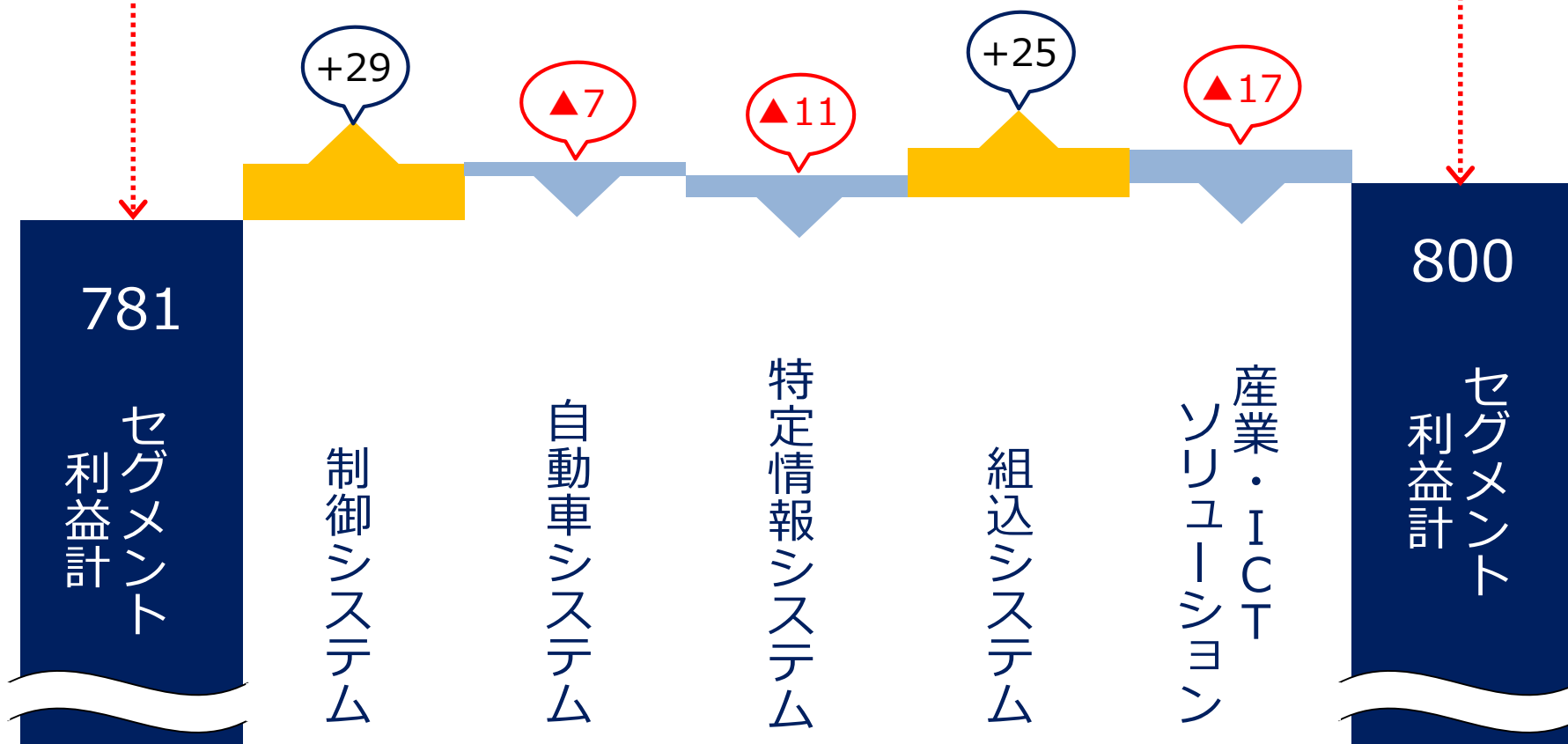
単位：百万円



セグメント別利益増減

単位：百万円

18百万円の増加 (前年同期比：+2.4%)



21年5月期
第2四半期

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

22年5月期
第2四半期

制御システム

- 再生可能エネルギー関連で新規案件を受注、火力発電所向け監視・制御は開発量が減少
- 在来線の大規模案件、海外高速鉄道が堅調（前年上期に売上が少なかったことも要因）

単位：百万円

セグメント		21年5月期 第2四半期 (利益率)	22年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
制 御 シ ス テ ム	売上	422	623	+200 (+47.5%)
	利益	108 (25.6%)	138 (22.2%)	+29 (+27.7%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

自動車システム

- パワートレイン制御では電動化案件が好調に推移し、エンジン制御はHEV向けで増加
- AD/ADASはコロナ禍に加え、端境期のため開発量が減少

(HEV：ハイブリッド、AD：自動運転、ADAS：先進運転支援システム)

単位：百万円

セグメント		21年5月期 第2四半期 (利益率)	22年5月期 第2四半期 (利益率)	増減 (増減率)
		自動車システム	売上	877
	利益	237 (27.1%)	230 (25.4%)	▲7 (▲3.1%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

特定情報システム

- 画像認識/識別はAD/ADASや映像監視が堅調に推移
- 危機管理は大規模案件がスタートするも、進展遅れ

単位：百万円

セグメント		21年5月期 第2四半期 (利益率)	22年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
特定情報システム	売上	320	312	▲8 (▲2.6%)
	利益	84 (26.4%)	73 (23.5%)	▲11 (▲13.3%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

組込システム

- ストレージデバイスでは、SSD等既存製品は横ばいも新ストレージで担当範囲を拡大し好調に推移
- IoT建設機械、AD/ADASの基盤ソフトウェア開発は横ばいで推移

単位：百万円

セグメント		21年5月期 第2四半期 (利益率)	22年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
組込システム	売上	513	599	+85 (+16.7%)
	利益	115 (22.4%)	140 (23.4%)	+25 (+21.9%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

産業・ICTソリューション

- 航空宇宙関連で大規模案件請負に向け上流設計に参画
- ICカード、システム構築は堅調に推移
- 社会基盤関連の立ち上がり遅れや、鉄道子会社向けのコロナによる作業量減少により利益減

単位：百万円

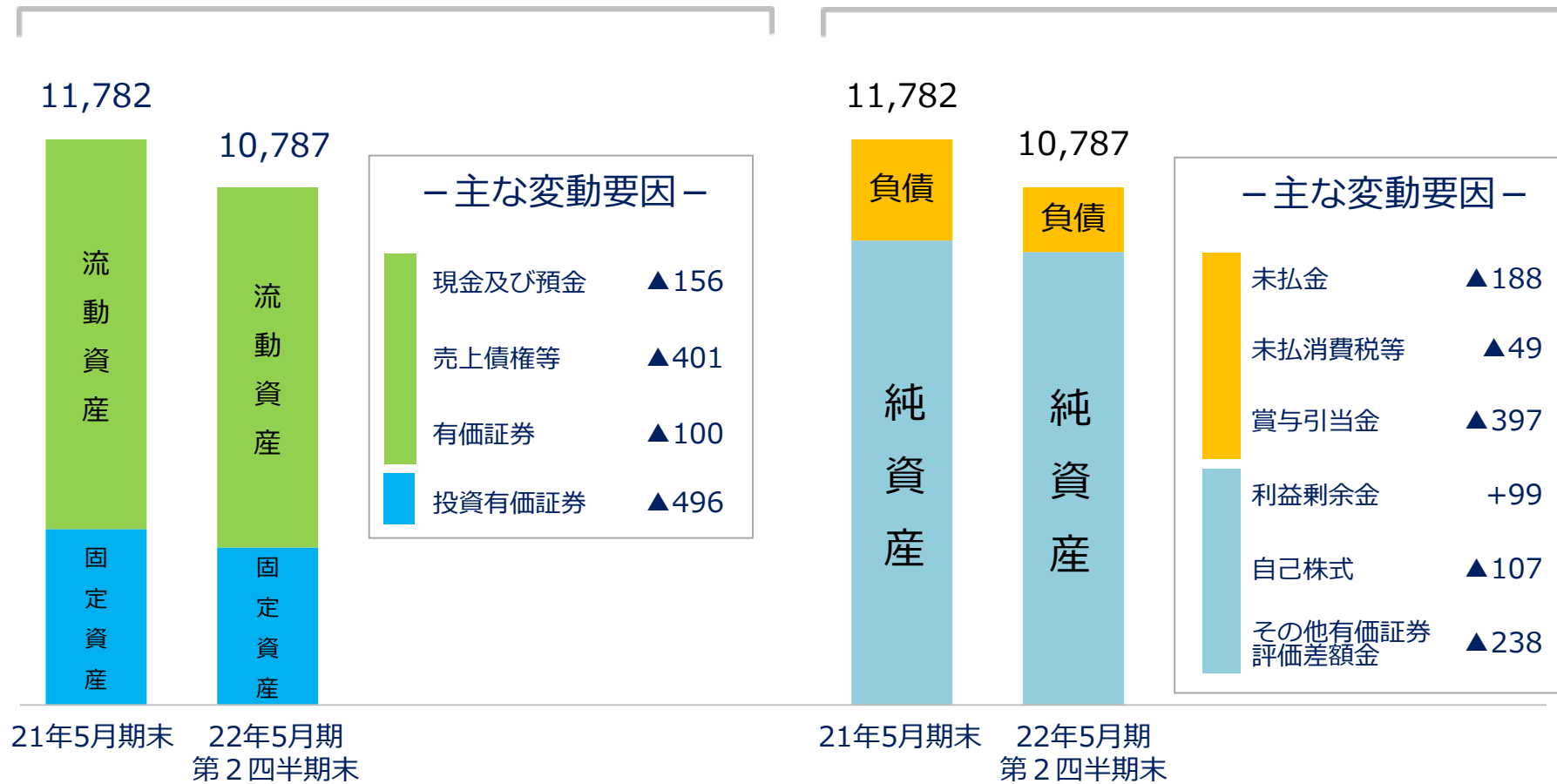
セグメント		21年5月期 第2四半期 (利益率)	22年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
産業・ICT ソリューション	売上	1,223	1,234	+11 (+0.9%)
	利益	235 (19.3%)	218 (17.7%)	▲17 (▲7.5%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

資産の部

負債/純資産の部

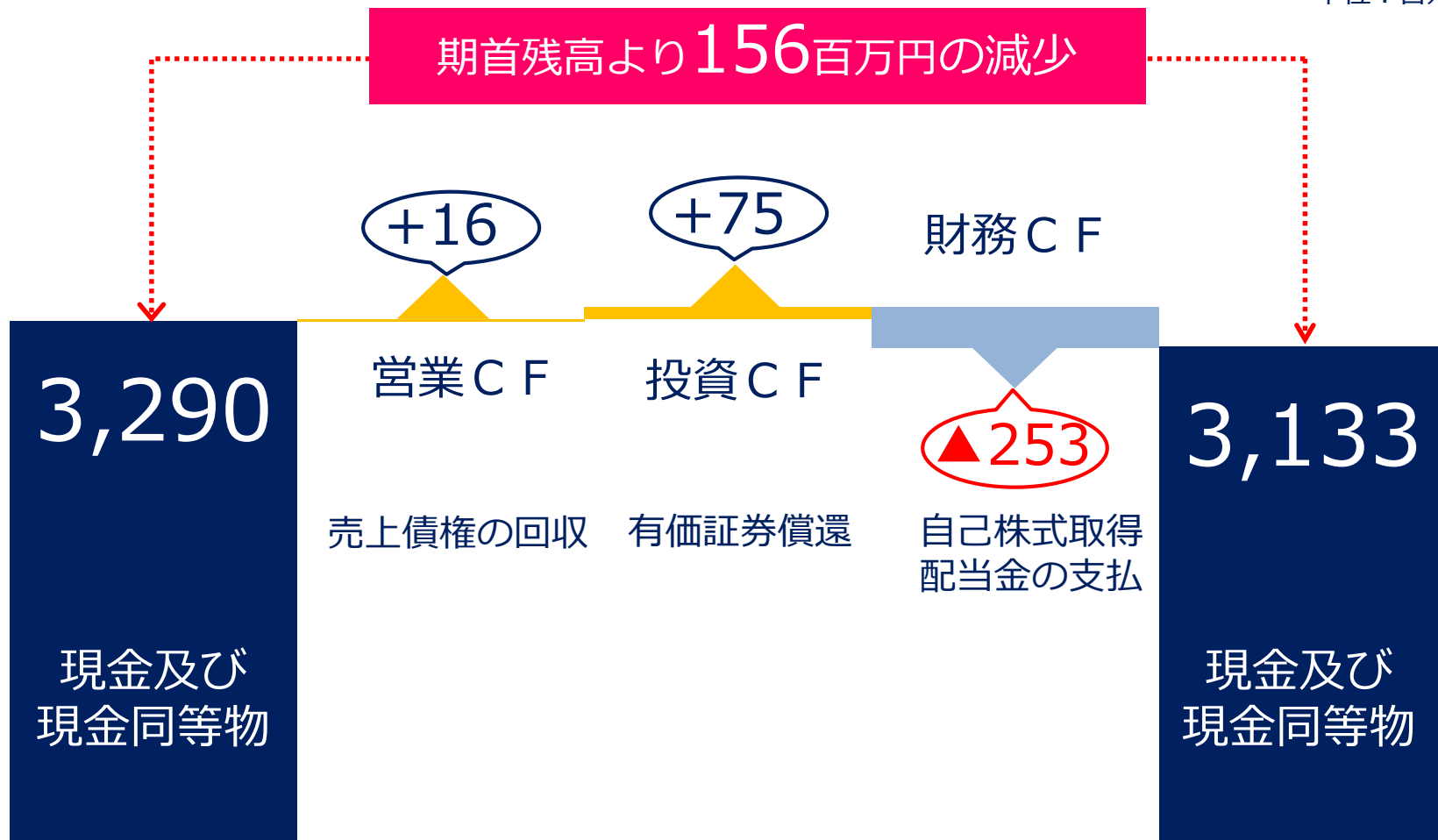
単位：百万円



財務指標（その他）

	21年5月期 第2四半期	22年5月期 第2四半期	(参考) 21年5月期
純資産額	9,645百万円	9,437百万円	9,675百万円
1株当たり純資産	996.79円	987.92円	999.93円
1株当たり四半期 (当期)純利益	24.37円	23.42円	56.27円
自己資本比率	88.4%	87.5%	82.1%
自己株式	968,505株	1,102,126株	968,505株
従業員数	662人	656人	676人

単位：百万円



22年5月期
期首残高

22年5月期
第2四半期末残高

※22年5月期第2四半期末残高は、為替変動による増加分4百万円を含んでおります。

1. 2022年5月期 第2四半期連結決算

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

中期経営ビジョン

ソフトウェアで
社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する。

基本方針（2022年5月期～2024年5月期）

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進
 - ①大規模案件受注に向けた営業力強化
 - ②新規設計力の向上
 - ③マネージメント力の向上
2. T-SESのトータル度向上

(T-SES : トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス) JPDの造語

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進

①大規模案件請負受注に向けた営業力強化

部門間の営業連携と本社の営業支援を強化し、大規模案件の請負を狙う。

②新規設計力の向上

大規模案件等で、新規設計する機会をより多く創出し、新規設計力の向上を図る。

③マネージメント力の向上

大規模案件等で、プロジェクトをマネージする機会をより多く創出し、マネージメント力の向上を図る。

2. T-SESのトータル度向上

長期的な取組であるT-SESのテーマとして、各分野でトータル度を向上し、顧客へのサービス価値を拡大する。

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進



【進捗状況】

- 事業本部及び部門間で連携し、営業活動を強化
- 危機管理分野の大規模案件を請負受注、事業本部・PMOが監督・支援しプロジェクトを推進

2. T-SESのトータル度向上



【進捗状況】

- AD/ADASで車種展開の一括請負を模索
- 在来線運行管理は一括請負に向けた操作端末用ツール開発

1. 2022年5月期 第2四半期連結決算

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

2022年5月期 連結数値

単位：百万円

	21年5月期 実績	22年5月期 見通し	増減額 (増減率)
売上高	7,643	7,870	+226 +3.0%
営業利益 (利益率)	701 (9.2%)	705 (9.0%)	+3 +0.5%
経常利益 (利益率)	803 (10.5%)	745 (9.5%)	▲58 ▲7.3%
当期純利益 (利益率)	544 (7.1%)	500 (6.4%)	▲44 ▲8.1%

制御

再生可能エネルギー完遂と次案件受注
在来線縮小もATOSと新幹線で新案件スタート

自動車

拡大の見込める電動化案件に注力
AD/ADASは来期の回復狙い上位設計参画

特定情報

危機管理の大規模案件に注力
画像認識/識別は堅調

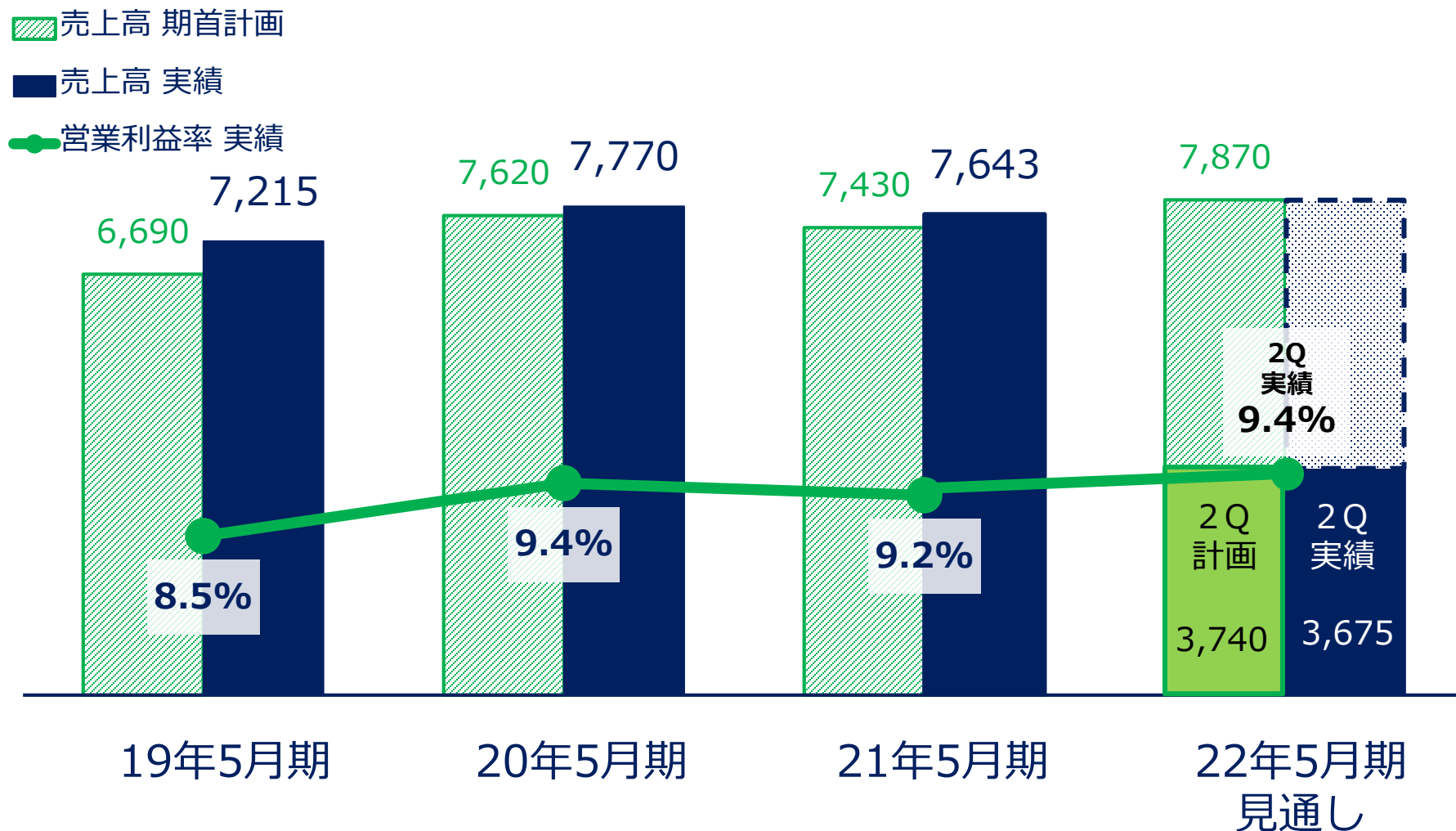
組込

好調のストレージデバイスで既存製品、新スト
レージの拡大を狙う

産業・ICT

航空宇宙の大規模案件を請負受注し、注力
システム構築は堅調、鉄道関連は縮小

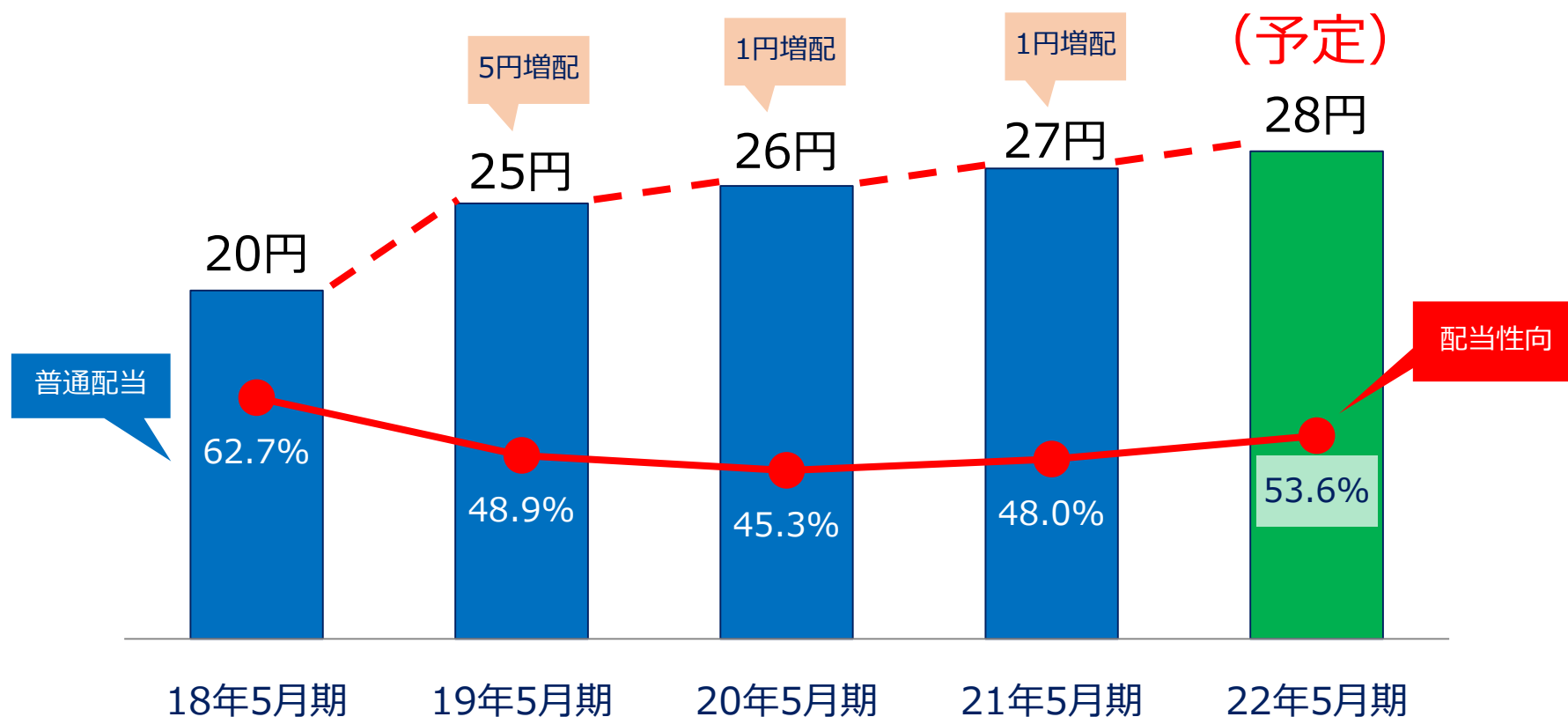
業績の推移



配当方針

① 安定的配当の継続

② 配当性向概ね50%以上を目標



※17年12月1日を効力発生日とし、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。
年間配当額は、18年5月期の期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

ソフトウェアで
社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献します。

免責事項

本資料は作成時点での予測や仮説に基づく記述が含まれています。
これら将来の見通しに関する記述についてはその実現を保証するものではなく、
既知、未知のリスクや各種要因により実際の結果、業績と異なることがあります。

お問合せ

経営企画部 部長 米島英紀

keikibu@jpd.co.jp